

夢

を持ち
を育み
を叶える

～大津町学校教育ビジョン基本理念～

Murofessional 2nd ～勇気～

(むろふえっしょなる セカンド)

vol. 4

R 3.7.7 文責：村田典子

“室小虎の巻”デモ版・・・ハイブリッドの目玉企画

ハイブリッド運営の目玉企画である学校ガイド“室小虎の巻”のデモ版ができました。7月5日（月）に配布しました。ホームページとバスキャッチでもお知らせしております。紙媒体では、モノクロになってしまい、カラーの良さが伝わらないので、電子媒体でも伝えたいという子供たちの要望を受けて。また、7月5日（月）の配布も、週末より月曜の方が配布物が少ないので目にとまりやすいという子供たちの意見からです。

さて、皆さんご覧になっていただけたでしょうか。初めての試みですので、まずはデモ版でいろいろなご意見をいただき、それらを反映させてアップデートした内容を、紙や印刷もプロ仕様の完成版として、10月初めに配布というスケジュールで取り組んでいます。

ガイドそのものの作成は子供たちの手によるものですし、ガイドに沿った案内（通知）文も子供たちが時候の挨拶やガイドの説明等を盛り込みながら下書きをし、さらに、なんと、バスキャッチやホームページ用のQRコード（右図）は、6年の村岡奏太郎さんの作です。子供力満載の“室小虎の巻”です。

完成版がよりよくなるように、アドバイスやご意見、また室っ子へのメッセージなどをお願いしています。5日の初日で、すでに20を超えるコメントをいただきました。ありがとうございます。メー切が15日（木）と短期間ですが、アップデートのために、どうぞ皆さんのコメントをお寄せください。



五者による“室っ子ぐんぐんループリック・アップデート”

五者とは、児童、学校、保護者、地域、行政です。本県では、この五者が“目指す子供の姿”を共有し、連携しながら教育活動を行うという取組を進めています。まさに、本校の五者が、本校の室っ子ぐんぐんループリックのアップデートのため、6月30日（水）アクティブ・ラーニングルームに一堂に会しました。

学校運営協議会の委員である地域コーディネーターの首藤さん、若草学園の河野施設長、熊本構造計画研究所の川野様に前半のご講話を、そして大津町教育委員会の平岡教育部次長にまとめを、県立教育センターの増藤指導主事にファシリテーターをしていただき、さらにPTA役員の4名の保護者の方もご招待という豪華メンバーでの研修でした。

何より素晴らしかったのは参加した22名の子供たち。室小の課題やいいところをとらえ、何をしていくのかをしっかりと考えました。研修後の感想をご紹介します。

★学校は子供のための場所なのに、これまで子供たちの意見が反映されなかったけれど、今回子供の意見も積極的に取り入れてくれた事で、子供も自分たちが思う学校を作り上げていくことにつながったと思います。これからもハイブリッドシステムを続けていくことで、もっと充実した学校生活を送ることができるんだと感じました。（6年藤原梨乃）



授業参観お世話になります

今週の10日（土）授業参観を行います。遡れば、一昨年度の11月5日の教育講演会前の人権学習の授業参観以降はなかったとのこと。令和元年11月以来の参観ですから、実に1年8ヶ月ぶりの授業参観になります。

とはいえ、コロナ禍の中での開催になります。感染予防対策は必須です。入校の際の手指消毒、検温、そして、異動や参観中の会話はご遠慮ください。感染対策を十分に行っていただき、安心・安全な中で教室でのお子さんの様子をご覧下さい。

帽子・上靴・・・自己管理能力

この時期に外で過ごすときの帽子は不可欠です。熱中症対策とケガの防止が主な理由です。・・・が、髪型が気になる等の理由から帽子をかぶりたがらないと言う話も聞きます。また、校舎内で上靴をはかない子がいます。廊下や階段等の移動時に、滑ることもあります。また、大人数が生活する学校ですから、いろいろな物も落ちており、踏むこともあります。さらに急な災害の時は、靴に履き替える時間などなく、そのまま避難することもあります。

ともに、命を守るものです。自分の安心・安全、何よりも命を自分で守る自己管理能力、とても大切です。ご家庭でも話題にさせていただくとありがたいです。

